



Фестиваль российской культуры в Японии-2011

セルゲイ・プロコフィエフ生誕120周年記念音楽祭

# “プロコフィエフへの オマージュ”

20世紀を代表する  
ロシアの作曲家  
プロコフィエフの名曲を  
8人の演奏家が競演する  
夢のコラボレーション



総合司会  
栗原 小巻

俳優。モスフィルムで制作された日ソ合作映画3本で主演。以来、ロシアにも多くの熱烈なファンを作り、合作映画30周年記念イベントや舞台公演、映画祭の審査員長などでロシアに招かれる。2009年に、日ソ文化交流に貢献したとしてロシア連邦大統領より友好勲章が授与された。



Сергей Прокофьев

セルゲイ・プロコフィエフ

2011年11月1日(火) 18:00開場  
18:30開演  
紀尾井ホール

東京都千代田区紀尾井町6番5号

全席指定(税込) S席 6,000円 A席 4,000円

主催:ロシア文化フェスティバル日本組織委員会  
後援:ロシア連邦文化省 ロシア連邦協力庁 日ソ協会  
駐日ロシア連邦大使館 日本・ロシア音楽家協会  
ロシアン・アーツ ヘラルドの会 ポリショイサーカス

チケットのお申し込み・お問い合わせ

ロシア文化フェスティバル日本組織委員会  
TEL.03-5919-1051 FAX.03-3355-8901  
メール: russian-culture@view.ocn.ne.jp  
(営業時間 10:00~18:00 土・日・祝日休)  
紀尾井ホールチケットセンター TEL.03-3237-0061  
(営業時間 10:00~18:00 日・祝日休)  
チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード:125-830]

プログラム

- 「ロミオとジュリエット」Op.64より「モンタギュー家とキャピレット家」
- 「シンデレラ」Op.87より「フィナーレ」ピアノ1台、2台版
- 「束の間の幻影」Op.22より
- ピアノ・ソナタ第7番 Op.83 第2、3楽章
- カンタータ「アレクサンドル・ネフスキー」Op.78より「激戦のあと」
- 子どもの音楽 Op.65、10の小品 Op.12より
- チェロ・ソナタ 八長調 Op.119 第2楽章
- ヴァイオリン・ソナタ 第1番 Op.80 第1、2楽章
- 交響曲第1番「古典」第3楽章「ガボット」室内楽版
- オペラ「3つのオレンジへの恋」より「行進曲」室内楽版
- 「ピーターと狼」より「勝利の行進」ほか

※曲目は都合により変更される場合があります。予めご了承ください。



# 20世紀を代表するロシアの作曲家プロコフィエフの膨大な作品群の中から、 ポピュラーな作品を各ジャンルごとに選別して演奏！ 作風の変遷・多様性を明らかにしながら、プロコフィエフ音楽の魅力にせまります。

セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)

Сергей Сергеевич Прокофьев



20世紀を代表するロシアおよびソ連の作曲家、ピアニスト、指揮者。母の手ほどきで幼少からピアノ演奏に親しみ、10歳のときにグリエールに作曲の基礎を学ぶ。1904年にベテルブルグ音楽院に入学し、作曲・ピアノ・指揮の各科で10年間学ぶ。作曲家のミャスコフスキとは音楽院時代の学友で、生涯にわたって親交を結んだ。

革命による混乱期の1918年に、シベリア・日本を経由してアメリカへ渡る。日本には2カ月余り滞り、東京と横浜で自作を含むピアノ・リサイタルを開催。日本の楽壇に大きな影響を及ぼした。その後1933年に至るまで、パリを拠点にアメリカや欧州で活躍。ディアギレフ率いるバレエ・リュスのためにバレエ作品を書き、指揮者クセヴィーツキイに新作をとり上げられるなど、世界的名声を博す。20年近い海外生活の後、1934年に社会主義のソヴィエトへ帰国。生涯に、交響曲、協奏曲、室内楽曲、ピアノ曲、声楽曲、オペラ、バレエ、映画音楽などあらゆるジャンルにわたる多くの作品を残しており、独特の親しみやすい旋律による作品は、広く人々に受け入れられている。作風は、革命期の亡命や帰国など外的な環境の変化に応じて、「帝政時代(モダニズム)」「西欧時代(古典派回帰)」「ソ連時代(社会主義リアリズム)」の3期に大きく分けられる。

## 出演アーティスト

〈ピアノ〉

エレナ・アシュケナーズ

Елена Ашкенази



モスクワの音楽家の家庭に生まれ、幼少より著名なピアニストである兄のウラジーミル・アシュケナーズの音楽に魅せられる。モスクワのグネーシン音楽アカデミーでアレクサンドル・ヨーヘルス教授に師事、学生時代からロシアやヨーロッパのピアノや室内楽のコンクールで優勝。モスクワ音楽院附属中央音楽学校教授を経て、1995年より武蔵野音楽大学客員教授。日本全国でソロ・デュオ・室内楽演奏会等を行っている。第73~75回日本音楽コンクールをはじめ、日本国内やヨーロッパのピアノコンクールにて審査員を務める。

〈オーボエ〉

ユーリー・イリン

Юрий Ильин



モスクワ音楽院にてピアノとオーボエを学ぶ。1983~1989年にモスクワ放送交響楽団首席オーボエ奏者、1989~1997年にスタニスラフスキー&ネミロヴィチ=ダンチェンコ記念国立モスクワ音楽劇場管弦楽団首席オーボエ奏者、1997~1999年にエジプト国立カイロ交響楽団首席オーボエ奏者。この間に、イリン・カルテットを結成、モスクワ音楽院にてオーボエ科教授に就任。これまでにK.コンドラシン、V.フェドセエフ、Y.スヴェトラノフ、M.ロストロポーヴィチなど著名な指揮者・演奏家と共演。

〈ピアノ〉

ミハイル・カンディンスキー

Михаил Канди́нский



1973年モスクワ生まれ。グネーシン音楽学校在学中にロシア・オーケストラとの共演に抜擢されデビュー。モスクワ音楽院を首席卒業後、全額給費特待生として渡英、英国王立音楽院大学院修了。ウィングゲート賞受賞。ラフマニノフの全ピアノ作品をレパートリーに持ち、その演奏は本国ロシアから高く評価されている。2000年に初来日、2001年より湘南地区に在住。洗足学園音楽大学講師。大作曲家ワシリー・カンディンスキーはミハイルの祖父の大叔父にあたる。

〈トランペット〉

アレクセイ・トカレフ

Алексей Токарев



1985年に国立サンクトペテルブルグ音楽院(旧レニングラード音楽院)に入学、同音楽院3年生の時、名門サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー・アカデミー交響楽団に入団、97年に同オーケストラの首席奏者となる。99年にオーケストラを退団、日本に拠点を移す。ロシアの作曲家のトランペット用オリジナル作品や、トランペット用アレンジを積極的に紹介。3枚のCDをリリース。2010年1月には来日10年を記念するリサイタルをヤマハ藤沢ホールにて開催し、好評を博した。

〈メソソプラノ〉

ワレンチナ・パンチェンコ

Валентина Панченко



1995年、国立ウラジオストク音楽大学大学院卒業と同時に国立プリモールスキー・フィルハーモニーとオペラ・スタジオで専属ソリストとして活動を始める。モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」のケルビーノ役でデビュー。次々とオペラ作品に出演するかわら、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェンの「第九」、プロコフィエフのカンタータ「アレクサンドル・ネフスキー」などでアルト・ソロを歌う。現在は、東京を中心にコンサート活動を行っている。2枚のCDをリリース。

〈ヴァイオリン〉

グリゴリー・フェイギン

Григорий Фейгин



1937年、ハリコフ(ウクライナ)の音楽家の家庭に生まれる。1961年「ブラハの春」国際コンクールでの優勝をきっかけに、コンサート・ヴァイオリニストとしての活動を開始する。ロシアを始めヨーロッパ各国でリサイタルを行っており、ソロや室内楽など録音も多数。また、教育者や作曲家としても活躍しており、モスクワ音楽院、同附属中央音楽学校で教鞭をとったのち、現在は武蔵野音楽大学客員教授。エレナ・アシュケナーズとのデュオはその秀でた音楽解釈や高度な技量と創造性によって各地で好評を博す。

〈チェロ〉

ドミトリー・フェイギン

Дмитрий Фейгин



モスクワ生まれ。父は著名なチェリストのヴァレンティン・フェイギン。1986年からソロ演奏や室内楽、オーケストラなどで活動を始め、音楽祭などでウラジーミル・スビヴァコフやイリヤ・ムーシン、ナタリア・グートマン、ユーリー・パシムエットらと共演。1991年にモスクワ音楽院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェルデニコフと共演、正式デビューを果たす。現在は、日本とロシアを中心に演奏活動を行う。モスクワ音楽院付属中央音楽学校教諭、東京音楽大学客員教授、くらしき作楽大学音楽学部教授。

〈ピアノ〉

イリーナ・メジュエワ

Ирина Межуева



ロシアのゴリキー(現ニジニー・ノヴゴロド)生まれ。1992年ロッテルダムで開催された第4回エドゥアルド・フリプセ国際コンクールでの優勝をきっかけにデビュー。1997年から日本を拠点に活動している。近年再評価の進むロシアの作曲家ニコライ・メトネルの作品紹介に力を入れており、2001年にはメトネル没後50年を記念したシリーズ「忘れられた唄へ」(東京、ムジカサ)でその主要作品を4夜にわたって取り上げ注目を集めた。2006年度青山音楽賞受賞。

※やむを得ない事情により、出演者が変更になる場合があります。予めご了承ください。

〈スタッフ〉

制作・招聘：ロシアン・アーツ  
 エグゼクティブ・プロデューサー：長塚 英雄  
 ゼネラル・プロデューサー・監督：高塚 昌彦  
 総合アドバイザー：石田 一志  
 舞台照明・音響：清水 裕  
 プロデューサー：北村れい子  
 浅野富佐子  
 通訳：児島 宏子 鍋谷真理子  
 荒井 雅子 山口 舞  
 編曲：中島 克磨

紀尾井ホール

東京都千代田区紀尾井町6番5号

会場のご案内：  
 JR線・東京メトロ四ツ谷駅御町口より徒歩6分  
 東京メトロ有明駅2番出口より徒歩8分  
 東京メトロ赤坂見附駅D出口より徒歩8分  
 東京メトロ永田町駅7番出口より徒歩8分

